

珍しい交響曲 アメリカ Minor Symphonies USA

作曲者		生没年	交響曲の数	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ☆☆☆☆:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レベル
John Knowles Paine	ペイン	1839-1906	2	交響曲第2番(1879)	×	4楽章で48分。アメリカを感じさせる部分はまったくありません。同時代のヨーロッパの作曲家の習作というような感じです。アメリカの管弦楽作品として初めて印刷された曲のこと。		8.559748	NAXOS
George Templeton Strong	ストロング	1856-1948		交響曲第2番(1888)	×	4楽章で60分。アメリカ人ですが、スイスで活動していました。曲は完全にヨーロッパのロマン派の音楽です。特に聴くべき部分はありません。		8.559018	NAXOS
Henry Hadley	ハードレー	1871-1937	5	交響曲第4番(1935)	★★★★★	4つの楽章に北、東、南、西という副題がついています。大変ユニークでおもしろい音楽です。38分。		8.559064	NAXOS
John Alden Carpenter	カーペンター	1876-1951		交響曲第1番(1940)	×	5楽章で20分。聴くべき部分無し		8.559065	NAXOS
				交響曲第2番(1947)	×	3楽章で19分。聴くべき部分無し			
Florence B. Price	プライス	1887-1953	4	交響曲第1番(1933)	☆☆☆☆	4楽章で40分。アジア風な雰囲気があります。聞きごたえがあります。		4853996	Decca
Walter Piston	ピストン	1894-1976	8	交響曲第2番(1943)	※※	3楽章で25分。時に惹かれる部分もある。		8.559161	NAXSOS
				交響曲第5番(1954)	※※	3楽章で22分。モダンで乾いた感じ。しんみりする部分はまったくありません。		8.559875	NAXSOS
				交響曲第6番(1955)	※※	4楽章で25分。時に惹かれる部分もある。		8.559161	NAXSOS
Howard Hanson	ハンソン	1896-1981	7	交響曲第1番(1922)	☆☆☆☆	3楽章で27分。スウェーデン系の作曲者のルーツを思い起こさせる曲です		432 008-2	Mercury
				交響曲第2番(1930)	☆☆☆☆	3楽章で30分。吹奏楽曲やハリウッドの映画音楽に出てくるような旋律や響きが多発しますが、これはハンソンがまねしているのではなく、長年音楽院の院長職にあつたハンソンの影響が大きいと言えます。		CE33-5262	EMI
				交響曲第3番(1938)	※※	4楽章で34分。俗っぽさがだいぶ耳につくようになりました。		434 302-2	Mercury
				賛美歌による交響曲(1928)	×	4楽章で22分。実質的な第1番。賛美歌が元に鳴っているだけあって第2, 3番よりはまともですが、特に良いところはありません。			

Virgil Thomson	トムソン	1896-1989	3	交響曲第2番(1941)	×	4楽章で17分。第1楽章の冒頭は幼児向けのテレビ番組のテーマのような間抜けさです。以下もふざけた感じが続きます。		8.559022	NAXOS
				交響曲第3番(1972)	×	3楽章で16分という短い曲。いいところ子どものための組曲で、交響曲という名前には値しません。			
Roy Harris	ハリス	1898-1979	13	交響曲第3番(1939)	☆☆☆☆	単一楽章で29分。西部開拓の様子が思い浮かぶような力強い音楽です。		POCG-2386	POLYDOR
				交響曲第7番(1955)	※※	単一楽章で最初の部分は第3番と似た感じでハリスの個性が出ています。		8.55905	NAXOS
				交響曲第9番(1962)	★★★★★	3楽章で30分。大変スケールの大きな曲で聞き応えがあります。			
Vittorio Giannini	ジャンニーニ	1903-1966	5	交響曲第3番(1958)	★★★★★	吹奏楽のための作品です。同時代の管弦楽作品の難解さと比べると、爽やかさ、すがすがしさが際立ちます。			
Paul Creston	クレストン	1906-1985	6	交響曲第1番(1940)	※※	Paul crestonは改名後の名前で元の名前はGiuseppe Guttovaggio。父親はイタリアからの移民なのでイタリア系アメリカ人ということになります。曲はテレビや映画の背景としてはよく合うと思いますが、単独で聴くには物足らないです。4楽章で24分。		8.559034	NAXOS
				交響曲第2番(1944)	※※	2楽章で23分。			
				交響曲第3番(1950)	※※	3楽章で27分。			
Elliott Carter	カーター	1908-2012	3	交響曲第1番(1942)	×	3楽章で29分。特に聴く部分無し。		8.559151	NAXOS
Samuel Barber	バーバー	1910-1981	2	交響曲第1番(1937)	※※	3楽章で21分。ゆっくりした第3楽章は聞きごたえがあります。第1楽章は人工的な悲壮感がわざとらしいです。		8.559024	NAXOS
				交響曲第2番(1943)	×	3楽章で31分。特に聴く部分無し。			
Alan Hovhaness	ホヴァネス	1911-2000	67	交響曲第48番 「アンドロメダの幻影」(1982)	※※	4楽章で30分。特にアンドロメダ星雲との関係は聞こえできません。第4楽章の旋律はアジア風です。ガムラン風の金属打楽器のアンサンブルもしばしば登場します。		8559755	NAXOS
David Diamond	ダイアモンド	1915-2005	11	交響曲第2番(1943)	※※	4楽章で45分。葬送と題された第1楽章、ゆっくりとした第3楽章には聴くべき部分があります。しかし、テンポの速い第2, 4楽章では金管楽器がはでに鳴つていかにもアメリカ風になるのが残念です。		8.559154	NAXOS
				交響曲第4番(1948)	※※	3楽章で16分。ゆっくりの第1, 2楽章は聞けますが、はでな第3楽章は聞けません。			

William Howard Schuman	シューマン	1920-1992	10	交響曲第3番(1941)	☆☆☆☆	2楽章で31分。第1番、第2番は作曲者によって破棄されているため、第3番が現在聞ける彼の最初の交響曲です。いかにもアメリカ風の人工的な音楽ですが、新鮮な響きがします。スコアを眺めると特に弦楽器のパートは大変難しそうです。	○	POCG-2386 8. 559317	POLYDOR NAXOS
				交響曲第4番(1942)	※※	3楽章で25分。第3番と似た感じです。		8.559254 交響曲全集	NAXOS
				交響曲第5番(1943)	※※	弦楽のための作品。3楽章で演奏時間17分。古典的な雰囲気です。		8.559317	NAXOS
				交響曲第6番(1948)	※※	単一楽章で29分。聴き映えのする部分もあります。		8.559625	NAXOS
				交響曲第7番(1960)	※※	4楽章で29分。4番以降通して聞いているとどれも似た曲に聞こえてしまいます。		8.559255	NAXOS
				交響曲第8番(1962)	※※	3楽章で33分。1, 2楽章は重苦しい雰囲気。3楽章は速くなりますが、やはり「重い気分」。		8.559651	NAXOS
				交響曲第9番(1968)	×	3楽章で28分。楽しめる部分がありません。		8.559254	NAXOS
				交響曲第10番(1976)	☆☆☆☆	3楽章で32分。聞き応えがあります。		8.559255	NAXOS
Ned Rorem	ローレム	1923-2022	6	交響曲第1番(1950)	※※	4楽章で23分。保守的な作風で、この年代の作とは思えないほど聴きやすいです。		8.559149	NAXOS
				交響曲第2番(1956)	※※	3楽章で16分。			
				交響曲第3番(1958)	※※	5楽章で26分。			
John Harris Harbison	ハービソン	1938-		交響曲第3番(1991)	☆☆☆☆	5つの楽章で26分。鐘の音を始め、いろいろ楽し気な音が聞こえます。		TROY390	Albany
Margaret Brouwer	ブラウワー	1940-		交響曲第1番(1997) 湖の声	☆☆☆☆	連続して演奏される3楽章で17分。タイトルの通りの情景を描いた作品。大変聞きやすいです。		8559933	Naxos
Christopher Rouse	ラウズ	1949-2019	6	交響曲第5番(2015)	※※	単一楽章で30分。作曲年の割にはオーケストラが普通に鳴っています。単一楽章で30分。		8.5598852	Naxos
Robert Carl	カール	1954-		交響曲第5番(2013) ランド	×	9つの部分からなり合計で22分。現代音楽です。		1076	BMOP